

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

関西方面で管理栄養士の国家試験受験資格を得ることができる大学を探していた際に同志社女子大学を見つけました。
 就学率・国家試験合格率の高さや オープンキャンパスで感じた雰囲気の良さ、充実した設備、手厚いサポートなど、
 様々な魅力に強く惹かれ、志望校に決定しました。

(2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

この時期はまだ志望校が決まらず、とりあえず国公立大学を目指していました。高校1年生の頃から日々の授業と定期テスト
 に真面目に取り組むように心がけていたため、3年生でもその2つを軸に勉強を進めました。私は朝型なので、
 毎朝5時に起きて勉強の習慣を作り、平日も休日も1日最低5時間は勉強時間を確保できるようにしていま
 した。塾は週に1回、セクター試験に向けて数学を習っていました。

[夏休み]

高校にあった講義や模試、塾の夏期講習、通信教材などで主にセクター対策をしていました。朝も変わらず5時に起き、
 3食大体同じ時間に食べるようにするなど、日々の生活リズムをくずさないように気をつけていました。1日1題は英語の長文
 に触れるという事柄を決めて、その1題は2日にやるくらいに思っていた内容をやるという感じで合計10時間以上勉強時間
 をとるようにしました。1年半に入って志望校を決定できたため、推薦入試の過去問に手をつけて始めたのは
 8月がもう少し終わる頃という遅い時期になりました。

[2学期～入試直前]

以前までは授業が終わるとすぐに家に帰っていました。学校が閉まる時間を教室に残って勉強するようになり、
 静かな環境で家よりも集中でき、同じように残って頑張っているクラスメイトの姿を見ると私も頑張ろうという
 気持ちになれたので辛くはなかったです。受験科目に決めた英語と生物の先生方は本当に手厚く
 サポートして下さいました。疑問に思った事に対して深く詳しく教えて下さったり、分からないところがあると多くの時間を
 割いて向きあって下さいました。塾では数学に加えて英語も習い始め、今まで知らなかった事から基本的な事の全部まで
 沢山の吸収ができました。6年分の過去問を繰り返して解き、最終的には英語も生物も安定して8割以上とれるようになりま
 した。直前に気づき、新しい事でも英単語と生物のまとめノートと全部見直し復習を頑張ることに専念しました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は勉強の合間の息抜きを楽しみにしていました。甘いものを1日のごほうびとして毎日食べたり、海などでお散歩したり、
 場所を変えて図書館やカフェで勉強したりするなど、疲れた時はなるべくそれがなくなるようにしていました。
 そのおかげでストレスが爆発せずにすんだと思います。テレビやスマートフォンはどうしても見たくてしまうので、見るとき
 を決めるようにしていました。生物は暗記が多い科目なので、分からないところは1つ1つ見直せるように、自分で
 まとめノートを作っていました。問題を解く中で出会った知識は全部書き込んだのでスランプに陥ったときもそのノート
 1から理解し直して解消しました。ノートにまとめながら頭に入ると、達成感も得られるので暗記科目は全部
 この方法でやりました。おすすめですよ😊

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験前までは、いくら勉強しても本当にこのまま大丈夫なのか、1世の人とは違うのかやっていると、いろいろな
 気持ちで悩んでグルグルまわり回ってとても不安でした。ゴールが見えない中ずっと頑張るための心づき
 でしたが、合格が決まった時はすごく嬉しくて、長い間積み重ねてきた事はちゃんと身に付いていて本当に
 実感できました。受験生の皆さんも、適度に息抜きをしながら合格を掴めるよう、自分を信じて頑張る
 下さい!!

推薦入学試験 S
 食物栄養科学科管理栄養士専攻